



JUNBA 理事会(第 178 回)議事要旨

日時: 令和 5 年 10 月 26 日(木)15:30~

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 16名

【理事】 桜美林大学(丸山会長)、大阪大学(North 副会長)、名古屋大学(神山理事)

【事務局】 日本学術振興会(中別府事務局長(兼常務理事)、池田副センター長、田邊、Abby Hughes)

【オブザーバー】大阪大学(東澤)、名古屋大学(岡田)、早稲田大学(眞谷)、東京大学(増山、松崎)、神戸大学(石井、橋本)、立命館大学(三宅)、赤塚

1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

2. 活動報告:

(1) 早稲田大学 眞谷国光氏

早稲田大学の拠点代表者から以下のとおり拠点設置状況、活動内容の報告、現在の課題点等が発表された。

・オフィス設置状況:

現地スタッフとの2名体制でオフィスを運営

ニューヨークオフィスもあるが、バーチャルオフィスとして外部への委託によって運営されているため、サンフランシスコオフィスがアメリカ全土を管轄している状況

・学生交流:

当初はこれを目的として設立されたが、現在はエフォートが下がっている状況。協定校の開拓等を実施。現状として円安の影響で日本からの留学者数が減少している状況。逆に日本への留学生数は円安の影響もあってか増加傾向にある。

米国内の高校生のリクルート活動に、時間や費用をかけて実施している。

・研究交流:

学生交流ほどは尽力できていない。職員2名体制であるため、専門性を意識する意味でも研究者主体に動いてもらうしかない状況。

・ネットワーク拡大及びファンドレイジング:

日本人卒業生や早稲田大学留学経験者のネットワークを SNS 等を利用して地道に広げているところ。またそこからファンドレイジングに繋げていくようにしている。ファンドレイジングをするうえでは、法人ステイタスが重要になるため、Private Foundation から Public Charity に変更すべく、申請し、審査が通過したところである。

報告の後、質疑応答及びファンディングレイジングに関連して法人ステイタスに関する意見交換、また日本からの職員のビザ問題について情報交換が実施された。

3. 11 月理事会メンバープログラム更新確認:

会則変更を付議する臨時総会を招集するため、11 月のメンバーによる活動報告は延期することを確認した。

理事会 議題・報告

JUNBA 事務局からのお知らせ

(1) 前回理事会の議事要旨について

事務局から、事前に共有された資料について追加・修正等の意見がなかったことについて説明があり、原案どおり承認した。

(2) 各拠点の令和 5 年度の活動計画について

資料に基づき、活動計画について確認した。

月例会(30 分) - (神山理事)

神山理事から、20 周年記念イベントの実施及びそのトピックについて検討する必要がある旨説明され、トピックについて議論された。

丸山会長: 円安もあるため、ファンドレイジングについての意見交換はどうか。

神山理事: 所属大学からの目線でいうと、寄付金の日本への持って行き方が非常に関心が高い。またスタートアップについての関心も今高い。名古屋大学のオフィスとしては産学連携が設立当初から一つの重要なミッションになっている。現在日本でもスタートアップの効率のよさが気付きとして広がっている。さらに、学生交流の視点から考えると、円安の状況下で学生をどうやってアメリカへ連れていくのか、また逆にアメリカから日本にどうやって学生をつれていくかということについては関心が高いと考える。

・丸山会長: 18 歳人口の減少に対して、各大学がどういうふうなビジョンを描いているのかについて話し合うのはどうか。なお、ポストコロナとコロナ以前の学生で国際交流に対する意識が変わっているように感じる。

神山理事: 18 歳人口減少については大学経営の目線で重要であるが、アメリカではどう取り組んでいるのかという目線で考えるのはどうか。

丸山会長: 2 つのトピックに分けて、キーノートスピーカーを呼んで講演していただくもの、学生交流に関する意見交換のような形で実施するのはどうか。

North 副会長: 2020 年にファンディングレイジングをすでにテーマにしているから避けた方が良いのでは。

神山理事: 今のファンディングレイジングの話題とは異なるもっとプラティカルなものに今回はなるのではないかと考えている。

丸山会長: 海外拠点のあり方について再度話し合うのはどうか。

増山(東京大学): 米国拠点の立ち上げの経緯が東京大学は異なっている。東京大学は大学がもっと外に出て行かないといけないんじゃないかという意識をもとに、研究の国際化のロケーションを確立したいということで海外に出てきた経緯がある。留学等やファンディングレイジングについては、別の団体が置かれている。JUNBAに参加したのはネットワーキングが目的というのがある。

神山理事: 各団体がそれぞれ別の目的で拠点を設置していることを考えるのは事実である。最大公約数がなにかということも考えたい。

以上の議論を持って、話がまとまる状況ではなかったため、JSPSの予算要求が12月頃となることからそれを期日とし、次回の会議でも引き続きJUNBAのトピックについて議論したい旨確認された。

次回理事会の日程: 令和5年 11月16日(木) 16時00分～(PST)
11月16日(木) 19時00分～(EST)
11月17日(金) 9時00分～(JST)